

# 合格に導くTACの戦略的カリキュラム

## インプット編

### 弁理士試験合格のための徹底的な基礎知識習得

国家試験の最高峰のひとつと言われる弁理士試験も基礎知識がないと合格できません。令和元年度の短答本試験を例にとると、合格者と不合格者が差がついた問題は、決して難しい問題ではなく、基本的な問題でした。基本講義で学習する内容は、その基本問題でしっかりと得点を確保できるようにするために必要な知識です。インプット期に習得した知識が弁理士試験合格のための土台となり、必要不可欠なものになります。

| インプット            |          | 講義回数   | 1回の講義時間 (途中休憩あり)   |
|------------------|----------|--|--|
| オプション講座 入門講義 全4回 |          | ● 特許・実用新案法 2回<br>● 意匠法・商標法 1回<br>● 条約・不競法・著作権法 1回                  | 150分<br>使用テキスト<br>入門講義テキスト   |
| インプット            |          | 講義回数   | 1回の講義時間 (途中休憩あり)   |
| 基本講義 全53回        | 体系編 全18回 | ● 特許・実用新案法 8回<br>● 意匠法 3回<br>● 商標法 3回<br>● 条約 2回<br>● 不競法・著作権法 2回  | 150分<br>使用テキスト<br>ELEMENTS 1 (特・実)<br>ELEMENTS 2 (意匠・商標)<br>ELEMENTS 3 (条約・不・著)    |
|                  | 逐条編 全35回 | ● 特許・実用新案法 13回<br>● 意匠法 5回<br>● 商標法 7回<br>● 条約 5回<br>● 不競法・著作権法 5回 | 180分<br>使用テキスト<br>基本講義テキスト逐条編 (特・実)<br>基本講義テキスト逐条編 (意匠・商標)<br>基本講義テキスト逐条編 (条約・不・著) |
| インプット            |          | 講義回数   | 1回の講義時間 (途中休憩あり)   |
| 基本講義 (論文編) 全2回   |          | ● 特許・実用新案法・意匠法・商標法 2回  | 150分<br>使用テキスト<br>基本講義テキスト論文編  |

### 入門講義 (オプション講座)

初めて学習する方には、馴染みのない弁理士試験の出題科目について、法体系や各法域の関連性、条約との関係などを学び、全体像をつかみます。「木を見ず森を見る」学習を先に行うことでこの後の学習効率が飛躍的に向上します。

### 基本講義 (体系編・逐条編)

弁理士試験合格に必要な範囲をすべて網羅し、知識の土台を固める講義です。体系編では、合格のために必要な「知識の枠」を作り、逐条編では、その「知識の枠」に条文の知識を丁寧に入れていきます。また逐条編では短答対策と論文対策を同時に学習できる短答論文ハイブリッド学習を実施します。

### 基本講義 (論文編)

論文本試験特有の出題パターンを分析し、各パターンに応じた論文作成テクニックをマスターする講義です。「何をどのように記述していくか」の段階からはじめ、最終的にはどのような出題パターンにも対応できるようにします。

### 短答基礎答練

「これだけは押さえない」基本事項を出題する答練です。基本講義逐条編の各科目の終わりに実施しますので、科目の総まとめを兼ねた知識確認ができます。また早期に知識の穴を発見し、弱点補強をすることで、本試験に向けた実戦力の向上を図ります。

### 短答応用答練

短答本試験と同じ5肢択一形式で各科目ごとに実施します。短答本試験もしくはそれより少し高いレベルの問題を、短答本試験より速いスピード (本試験は3.5時間で60問 (1問あたり3分半) に対し、短答応用答練は2時間で40問 (1問あたり3分)) で解くことで、実戦力を養います。

### 短答的中答練

短答本試験と同じ5肢択一形式で出題も全科目に拡大し、実施します。短答本試験同様の多彩な出題形式を取り入れ、本番形式に慣れるとともに、時間内に解答の取捨選択ができるような実戦力を養います。短答本試験に近い難易度の問題や応用力が問われる問題も取り入れています。

### 論文基礎答練

論文本試験過去問などを用いて、論文に必要な知識や作業を確認する答練です。初めて論文を書く方を対象に、題意把握→答案構成→論文作成という流れを意識しながら、問題文の読み方・答案の書き方を学びます。

### 論文応用答練

論文本試験で問われる知識、答案構成力等、これまでに身につけた力をすべて使って、論文本試験と同レベルの問題に繰り返し挑戦し、答案作成力を本試験合格レベルに引き上げます。問題を通じて、出題者の意図を読み取る力、解答に記載すべき内容を判断する力、結論までの筋道を組み立てる力を確立し、論文本試験合格に必要な論述力を養います。

### 論文的中答練

論文本試験レベル、もしくはそれよりも高い難易度を想定した問題を出題します。論文本試験以上に負荷がかかる環境を作ることで、筆力を確実なものとし、論文本試験対策の総仕上げを行います。論文応用答練から継続的に演習を続けることにより、論文本試験に向けて、実力をキープ・向上させることができます。

### 短答式・論文式全国公開模試

本試験同様の実施時間・実施形式で実施する模擬試験です。同じ志を持った質の高い集団の中で自分の位置・レベルを確認することができます。また、TACの全国公開模試は本試験での「的中」が続出する質の高い模擬試験です。

## アウトプット編

### 毎年の中する良質な答練・模試で実戦力を養成

いくら基礎知識があり、論文作成の方法を学んでも、問題演習を通じたトレーニングを積まないで得点力は伸びません。弁理士試験に合格するためには、短答本試験では、原則65%の得点を確保する必要があり、論文本試験では、受験生の上位25%以内に入る必要があります。その合格水準を満たすために、短答では絶対に落とすはけない基本問題を確実に得点し、論文では問われていることに対して、正確に論述することが必要です。TACの厳選された問題演習を通じて、本試験が突破できる実力を身につけます。

| アウトプット        |  | 講義回数  | 1回の講義時間  |
|---------------|--|---|--|
| 短答基礎答練 全5回    |  | ● 特許・実用新案法 1回<br>● 意匠法 1回<br>● 商標法 1回<br>● 条約 1回<br>● 不競法・著作権法 1回                           | 問題演習 90分+休憩 10分+解説講義 50分<br>使用教材<br>問題・解答解説冊子 (各5冊)  |
| アウトプット        |  | 講義回数  | 1回の講義時間  |
| 論文基礎答練 全3回    |  | ● 特許・実用新案法 1回<br>● 意匠法 1回<br>● 商標法 1回   | 問題演習 60分+休憩 10分+解説講義 80分<br>使用教材<br>問題・解答解説冊子 (各3冊)  |
| アウトプット        |  | 講義回数  | 1回の講義時間  |
| 短答応用答練 全6回    |  | ● 特許・実用新案法 2回<br>● 意匠法 1回<br>● 商標法 1回<br>● 条約 1回<br>● 不競法・著作権法 1回                           | 問題演習 120分+休憩 10分+解説講義 50分<br>使用教材<br>問題・解答解説冊子 (各6冊)   |
| アウトプット        |  | 講義回数  | 1回の講義時間  |
| 論文応用答練 全9回    |  | ● 特許・実用新案法 3回<br>● 意匠法 3回<br>● 商標法 3回   | 問題演習 120分+休憩 10分+解説講義 50分 (特・実)<br>問題演習 90分+休憩 10分+解説講義 50分 (意匠・商標)<br>使用教材<br>問題・解答解説冊子 (各9冊) |
| アウトプット        |  | 講義回数  | 1回の講義時間  |
| 短答的中答練 全4回    |  | ● 全科目 4回  | 問題演習 120分+休憩 10分+解説講義 50分<br>使用教材<br>問題・解答解説冊子 (各4冊)   |
| アウトプット        |  | 講義回数  | 1回の講義時間  |
| 論文的中答練 全6回    |  | ● 特許・実用新案法 2回<br>● 意匠法 2回<br>● 商標法 2回   | 問題演習 120分+休憩 10分+解説講義 50分 (特・実)<br>問題演習 90分+休憩 10分+解説講義 50分 (意匠・商標)<br>使用教材<br>問題・解答解説冊子 (各6冊) |
| アウトプット        |  | 実施回数・1回の実施時間  | 使用教材   |
| 短答式全国公開模試 全3回 |  | ● 全科目 3回<br>12:30~16:00 問題演習 210分<br>解説講義 90分 (Web配信のみ)                                     | 問題・解答解説冊子 (各3冊)  |
| アウトプット        |  | 実施回数・1回の実施時間  | 使用教材   |
| 論文式全国公開模試 全2回 |  | ● 全科目 2回<br>10:00~17:00 (随時休憩あり)<br>特許・実用新案法 120分<br>意匠法 90分 商標法 90分<br>解説講義 120分 (Web配信のみ) | 問題・解答解説冊子 (各2冊)  |